

2021年11/5(金)19時～21時

23目標 入門・基礎マスター期 Q&Aセミナー

<本日の内容>

- I. 入門・基礎マスター期のポイント、スケジュール
- II. 各科目 入門・基礎マスター期によくいただくご質問
- III. その他事前にいただいたご質問・Q&A
- IV. 参考資料

スケジュール表 11月～7月(書込み用)

各種質問・相談窓口(校舎/zoom質問コーナー、個別相談、就職相談)

企業法
六法の使い方.

<配布物>

本レジュメ

*各科目の学習法について

9/10(金)実施の学習法ホームルームで、以下の内容を詳しくお伝えしています。
視聴がまだの方は、**Web School「講座からのお知らせ」**欄リンクから、アーカイブ動画とレジュメをご覧くださいませ。

- 8月論文までのスケジュール、各種講義の回数目安
- 短答/論文本試験のポイント、論文式試験成績の決まり方
- 各科目の講義後の復習サイクル・学習方法の例(計算ミスの一元化例、計算科目 上級期のメンテナンス例、一日のスケジュール例)

※次回は1/12(水)19時～Q&Aセミナーを予定しています。

※本セミナーは、後日web school「講座からのお知らせ欄」にてアーカイブ配信します。

PC版Google Chromeであれば、「Vimeo repeat & speed」という拡張機能を入れることで、最大3倍速で再生可能です(視聴期限:2023年8月末)。

1. 入門・基礎マスター期のポイント

1. 財務計算・管理計算の計算力を付ける。

トレーニング・テキスト例題について、スラスラ・ストレスなく解ける状態にする。

毎回のミニテストで満点を目指す。

③実力テストは立ち位置を確認するためのもの。

良い点が取れないような時でも受けて提出する。

※**解答練習は締切を過ぎても提出すれば採点・成績反映されます。** (全国模試以外)

間違った箇所・解答時にストレスを感じた箇所については、テキストに必ず立ち返る。インプット不足の解消・やさしみスの分析・一元化を行う(試験直前期のメンテナンスに役立つ)。

2. 理論科目は、テキスト等の内容がある程度説明できるようにする。

7月頃まで自習時間は計算科目>理論科目でよいが、理論科目も講義後の復習を行う。特に財務会計-理論。

3. 5月のゴールデンウィーク頃や、上級講義開始時期を中期目標とする。

講義消化・復習・計算の反復練習について、積み残しのない状態にする。

③1.5年コースの場合、**財計上級は7月頃～、管理上級は6月頃～。**
他の財理・企業法・監査論は2年コースと合流。

※**管理会計は、とにかくテキストが一番重要。**

■**管理のトレーニング・ミニテスト・実力テスト復習時は、「こういう時はこうやって解くんだな」「この問題を回して解けるようにしよう」ではなく、テキストのどの部分が思い出せなかったのか?を意識すると、問題形式が異なっても解ける計算力が付く。**

■**解けなかった問題は、「解説を見てわかる」で済まらず、実際に解けるようになっているか?(テキスト該当ページを思い出しながら)を試す。**

■**解けた問題についても、「理解して解けているか?」「テキスト該当ページが思い浮かぶか?」「本問では不要な下書きはなかったか?」を振り返る。**

* HPで配信日程表、校舎ライブ授業の日程表、22目標の日程表を
スケジュールの目安として活用する。

財計は今年は一川校が比較的通信生と近い。収録は新宿校で実施。
1週間後、講義録配信

cf. 昨年度の「日程 @C.P.A.」→「講義日程」→ 2022 合格目標コース [入門・基礎期] [上級期]
(「上級本科生」は受験経験者向け)

* 重要な情報は「@C.P.A.」もしくはWeb School「講座からのお知らせ欄」に載る。

ex. 質問コーナー日程表
講義日程

Zoom質問コーナー成績表、質問メール
進捗表・論点チェックリストなどの教材

毎週 check.

基礎229-講義

* 講義受講期、自習の比率、頻度は

会計	管理	財務	監査	企業	など
4~6	2~3	1~3	0.5~1	0.5~1	

10月 企業法基礎マstr-講義開始

11月

12月

2022年 1月

年内学習した内容を
年末に総復習

- テキスト
- トレーニング
- 実力テスト
- パワーアップ問題

2月頃
5月短答出願

基礎マターを総復習して
受ける(特に財計, 管理, 財理)

2月 財理基礎マstr-
講義開始 (重)
* 論文確問,
章扉活用

3月

監查論基礎マツ9-
講義開始

4月

5月

5/29(日) 短答式本試験

既習範囲のテキスト、トレーニング、ミニテスト、できればハイクラス問題も復習し、ミスマッチしたものを確認して受ける

(1.5年ユ-ズ)
(合読)

6月 財計以外の
上級講義開始 管理11回+補講2回 企業法14回 監査論12回 財理20回 など

理解・覚えるべき事項特定

(簿記1級) パワーアップ問題に
スラスラ解けるか

7月 財務理論
講義 週2

財務理論の上級講義は計算処理の理解を前提として進む。
計算について消化不良を起こすと上級期の財務理論の
学習の妨げになるおそれあり

8月

8月末 短答基礎答練 1

理論科目は前半のみ
計算は全範囲
(主に基礎マスター論点)

概の講義配信終了

理論科目 短答アクセス

2 | 4肢で判断する練習

9月

9月後半 短答基礎答練 2

10月

基本的には全範囲
(企業法は下キス②のみ)

財務計算・管理 短答アクセス 準備に要する。
と正確性・スピード維持のための 繰返し解く。
回転教材(網羅性はテキストで)

計算が定着し始めたら
理論科目を徐々に比重増やしていく

*理論科目は
回転期間を
徐々に短くしていく。

ex. 2週間 短答直前期

期 (C)

短答直前答練 1

*直前答練は本試験よりも難しいことが多い。
点数よりも内訳を重視(正解率の高い問題の獲得状況)。
やらかしミスはゼロに。

11月

短答直前答練 2

11月23日

短答全国公開模試

12 E

短答直前答練 3

短答式本試験 → 1月第3金曜頃 合格発表

期 12月第2日曜

12月短答までの大まかなスケジュール(1.5年コースの場合)

基礎マスター-講義

11月

管理会計入門・基礎マスター-講義開始

企業法基礎マスター-講義開始

12月

年内学習した内容を
年末に総復習

テキスト
トレーニング
実力テスト
パワーアップ問題

2022年 1月

テキストを大事に!
財計 管理のトレーニング・テキストが
自習のメイン。理論科目も講義の復習。
ズラズラ解ける + あらゆるミス一元化。

2月頃
5月短答出願

2月

財理基礎マスター-
講義開始 (重)

基礎マスターを総復習して
受ける(特に財計、管理、財理)

3月

監査論基礎マスター-
講義開始

4月

理論のためにも ~ 5月の
計算図のが勝負!

1.5年コース
財計上級は7月~
管理上級は6月~

5月

5/29(日) 短答式本試験

既習範囲のテキスト・トレーニング・ミニテスト・実力テスト・できればパワーアップ問題を
復習し、ミス一元化してものを確認して受ける

基礎マスター期の積み残しをなくしていく。
理論科目も上級までにぞと復習。

6月

財計以外の
上級講義開始

管理11回+補講2回 企業法14回 監査論12回 財理20回など

7月

(簿記1級) パワーアップ問題
ズラズラ解けるか

1.5年コース
財計上級講義開始
11回+補講3回

財務理論の上級講義は計算処理の理解を前提として進む。
計算について消化不良を起す上級期の財務理論の
学習の妨けにはなるおそれあり

理解・
覚えるべき事項
特定
不明点解消

8月

8月 短答基礎答練 1

理論科目は前半のみ。
計算は全範囲
(主に基礎マスター-論点)

理論科目は8月末で
概ね講義配信終了

財務計算・管理 短答アクセス 準備に受ける。
正確性・スピード維持のための繰り返し解く。
回転教材(網羅性はテキストで)

9月

9月後半 短答基礎答練 2

基本的には全範囲
(企業法はテキスト②のみ)

理論科目 短答アクセス
4版で
判断する
練習

計算が定着し始めたら
理論科目を徐々に比重増やしていく。

10月

短答直前期

10月中旬 短答直前答練 1

*直前答練は本試験よりも難しいことが多い。
点数よりも内訳を重視(正解率の高い問題の獲得状況)。
やらかしミスをゼロに。

11月

短答直前答練 2

*全国模試までにE判定脱出(平均)を目指す。
理想は上位20%以内。

12月

短答直前答練 3

短答式本試験

→1月第3金曜頃合格発表

*理論科目は
回転期間を
徐々に短くしていく。

2週間 計算科目も
10日間 2週間(周メソッド)を
を繰り返す(テキスト・問題)

知識の暗記

12月短答以降、8月論文までの大まかなスケジュール

<12月以降の講義>

租税法 経営学
BM 7回 法人税基礎 計算10回
上級20回 理論7回
(8+9+理論3回) (3月までに4回、6月3回)
所得基礎 消費

2022年
12月

12月第2日曜頃 短答式本試験 → 1月第3金曜頃 合格発表

租税法・選科科目 講義開始

2023年
1月

2月

3月

4月

5月

6月

7月

8月

<5月短答を受ける場合>

1~3月は財務・管理論文アクセス・
短答科目の論文基礎答練を使う。
(できれば応用・全国0も)

2月頃
5月短答出願

使い方は12月短答後の
ポータルで説明します。

3月末までは理屈重視、不明点解消
租税・経営の講義をできるだけ進めておく

3月後半 5月向け 短答直前答練 1

4月 短答直前期

租税・経営はストップ

4月半ば 5月向け 短答直前答練 2

GW頃 5月向け 短答全国公開模試

5月週明け 5月向け 短答直前答練 3

5月第3日曜頃 短答式本試験 → 6月第3金曜頃 合格発表

出題範囲の指定あり
2・3週間おき
論文基礎答練1
論文基礎答練2
論文基礎答練3
論文応用答練1
論文応用答練2
問題文の読み取り、問への素直な答え方を身につける
部分点の取り方、時間配分の練習等

財務・管理
論文アクセス1~10
出題範囲の指定あり
租税法アクセス1~9
租税法・経営学
論文基礎答練1~3
経営は2回
論文応用答練1~2

4月下旬 論文全国公開模試1

理論補強答練1
理論補強答練2

出題範囲指定なし
論文直前答練1
論文直前答練2
財務・管理
論文アクセス11~14
管理は出題範囲の指定なし
租税法アクセス10~11
出題範囲の指定あり

論文全国公開模試1

論文直前答練3
論文直前答練4(監・企のみ)

↓ 回転期

論文直前講義
各10分

8月第3週頃(金・土・日) 論文式本試験 → 11月第2(金)頃 合格発表 → 数日以内にエントリーシート提出、面接開始 → 12月頃 内定 → 12月半ば頃 入社

9月は手応えに開かず
法人説明会参加

レシメキ末尾に
書き込み用紙あり。

<TAC>無断転載・複製・公衆送信を禁じます。

2021年11/5(金) 23目標入門・基礎マスター期Q&Aセミナー 平林

スケジュール例 **2年コース通信生の場合** 赤… 財計 オレンジ… 管理 紫… 企業法 下線… 講義

目標

月	火	水	木	金	土	日	備考/ 振り返り
11/1	11/2	11/3 文化の日	11/4	11/5	11/6	11/7 予備日	
11/8	11/9	11/10 BM⑥	11/11	11/12 BM①⑪	11/13 BM④ 19-①準備	11/14 予備日	BM2 実⑩まであと3週 BM1 19-③まであと2週
11/15	11/16	11/17 19-①準備 BM⑦	11/18 19-①準備	11/19 *あじこW 実⑩準備 BM②③	11/20 BM⑤ 19-①準備	11/21 実⑩準備 予備日	BM2 実⑩まであと2週
11/22 BM②⑫	11/23 勤労感謝の日 BM1 19-③	11/24 19-①準備 実⑩準備	11/25 19-①準備 実⑩準備 BM⑧	11/26 *あじこW 実⑩準備 BM②⑮	11/27 BM⑥ 実⑩準備	11/28 予備日	実⑩まであと3週
11/29 実⑩準備	11/30 実⑩準備	12/1 実⑩準備 BM④	12/2 19-①準備	12/3 BM② 実⑩⑫	12/4 *あじこW BM⑦	12/5 予備日	実⑩まであと2週 BM2 19-①まであと2週
12/6 BM1 実⑩回復 実⑩準備	12/7 実⑩準備 BM1 実⑩回復	12/8 実⑩準備 BM⑩	12/9 BM1 19-①回復 BM1 19-①回復 実⑩準備	12/10 休 (BM③①) 実⑩準備	12/11 *あじこW BM⑥ 実⑩準備	12/12 予備日	BM2 19-③まであと2週
12/13 休 (BM③②) 実⑩準備	12/14 BM1 19-①回復 実⑩準備	12/15 実⑩準備 BM⑪	12/16 実⑩準備	12/17 19-①準備 休 (BM③③)	12/18 実⑩⑪ 19-①準備	12/19 BM2 19-① 予備日	
12/20 休 (BM③④)	12/21	12/22 BM⑫	12/23	12/24 19-①準備 休 (BM③⑤)	12/25 BM2 19-②	12/26 予備日	
12/27 BM1 19-③回復 休 (BM③⑥)	12/28 BM1 19-①回復 BM2 実⑩回復	12/29 BM1 19-①回復 BM2 実⑩回復	12/30 大掃除	12/31 ミ=テ総復習 ミ=テ総復習	1/1 ミ=テ ミ=テ	1/2 予備日	BM2 19-③まであと2週
1/3 若干不十分総復習 若干不十分総復習	1/4 若干不十分総復習 若干不十分総復習	1/5 若干不十分総復習 若干不十分総復習	1/6 若干不十分総復習 若干不十分総復習	1/7 BM⑩	1/8 BM⑬	1/9 予備日	
1/10 成人の日 19-①準備	1/11 19-①準備	1/12 19-①準備 19- オンラインQ&Aセミナー	1/13 19-①準備	1/14 19-①準備 休 (BM③⑦)	1/15 BM⑪ BM2 19-③	1/16 予備日	BM③ 実⑩まであと3週
1/17 実⑩準備	1/18 実⑩準備	1/19 実⑩準備 BM⑭	1/20 実⑩準備	1/21 *あじこW 休 (BM③⑧)	1/22 実⑩準備	1/23 予備日	大学修業期間 BM③ 実⑩まであと2週
1/24 休 (BM③⑨)	1/25 実⑩準備	1/26 実⑩準備 BM⑮	1/27 実⑩準備	1/28 *あじこW 実⑩準備 休 (BM③⑩)	1/29 BM⑫	1/30 予備日	2月~ 財理開始 " 監査論開始 (2/4(金) 休 BM③ 実⑩

* 企毎日2-30分
テキストと
メモ書き見る。

* 多少復習
やばいけど
実⑩講義は
ずらさず受ける。

* テキスト 論議10分
リストはこまめに
見直す
(1日10分程度)

* BM② 実⑩まで
70点超える

* 実⑩まで
90点超える

年末総復習!
(特に財管)

テキストと書き込み総復習

(年越しの瞬間)
財計や、2週こる

試験期間も
講義と財・管の
復習は確保する。

* BM③ 実⑩まで
70点超える

19-①準備

BM2
19-③まであと2週

BM2
19-③まであと2週

BM③ 実⑩まであと3週

BM③ 実⑩まであと2週

BM③ 実⑩

レシメ末尾に書き込み用紙あり。

<TAC>無断転載・複製・公衆送信を禁じます。

2021年11/5(金) 23目標入門・基礎マスター期Q&Aセミナー 平林

ex.

スケジュール例 1.5年Lコース 新宿校(収録校)の場合

目標

月	火	水	木	金	土	日	備考/ 振り返り
11/1	11/2	11/3 文化の日	11/4	11/5	11/6	11/7	* 追いつけそうなら配信済の2年コース収録講義を利用。
11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14 予備日	
11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21 予備日	
11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28 予備日	BH1 案⑩まであと3週
11/29 * あと2W	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5 予備日	BH1 案⑩まであと2週
12/6 * あと1W	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	
12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	
12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	
1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	BH1 案⑩まであと3週
1/10 成人の日	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	BH1 案⑩まであと2週
1/17 * あと1W	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	
1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	2月~ パワーアップ開始 " 財理開始 3月下旬~ BH3 " 監査論開始 5月中旬~ BH4

* 多少復習や宿題も
案⑩講義は
ずらさず受ける。

* テキスト論議
1/12はこまめに
見直す
(1810分まで)

* 企毎日15-30分
テキストと
メモ書き見る

* BH1 案⑩まで
70点超える

* 講義後の復習に
余裕がみれば、
案⑩前の準備時に
パワーアップ使うの
OK

* 案⑩まで
90点超える

年末総復習!
(特に財管)
テキストで書き総復習

(年越しの瞬間)
財計や、2/2迎える

* BH1 案⑩まで
70点超える

* 講義後の復習に
余裕がみれば、
案⑩前の準備時に
パワーアップ使うの
OK

II. 各科目 入門・基礎マスター期によくいただくご質問

1. 財務会計 計算

(1) 入門・基礎マスター期のポイント（再掲）

- 基礎マスター期までは「**正確性**」を意識する。
- 「問題」ではなく、「**論点**」をつぶす。**間違った箇所や解答時にストレスを感じた箇所はテキストに必ず立ち返る。ミスの分析・一元化を行う。**
- 理解が不安な箇所は、講師に質問する。**自習時間は主に反復訓練の時間**と捉える。
テキストや講義中のメモ書きを読んでも解決しなければ、**一人で悩み過ぎず**、校舎/zoomでの質問コーナー等を積極的に活用する。

(2) 財務計算 よくいただくご質問（事前質問への回答はレジュメ後半で）

Q.トレーニングはスラスラストレスなく解けるようにして実力テスト・パワーアップ問題に臨みましたが、全く歯が立たなかったです。何を意識すればよいでしょうか。

↓

A.

考えられる原因

- テキストのうちトレーニングに出ていない論点を手薄になっていた。
- トレーニングなどを復習してから、実力テスト・パワーアップまでに、2週間を超えていた。
- テキストを眺めるだけで、実際に解く時間を取っていなかった。
- やらかしミスの防止策を取っていなかった。

改善例

- 10日～2週間程度以内**にテキスト（論点チェックリストも活用）の確認を1周行う。
- 初見の問題を正確にスムーズに解く練習**として、毎回のテストはできるだけ準備をして受ける。
- 実際に解く時間を、毎日30分～1時間ほどずつは確保する。

計算のミス分析・一元化(再掲)

ポイント

- ◎間違えた問題について、なぜ解けなかったのか？徹底的に分析する（以下の例参照）。
インプット不足？反復練習やメンテナンス不足？やらかしミス？
- ◎正解した問題についても、解答時不安に感じた箇所はないか、下書きをシンプルにできないかなど振り返る。

原因①インプット不足

- ex.「細かい知識・計算処理が抜けていたため、自力では時間制限なしでも解けなかった。」
「仮にテキストを見ながらであれば正解できた。」「以前も同じミスをした。」

↓
テキストでインプット強化、トレーニングの反復、ミス一元化とテスト前の再確認。

原因②スピード不足

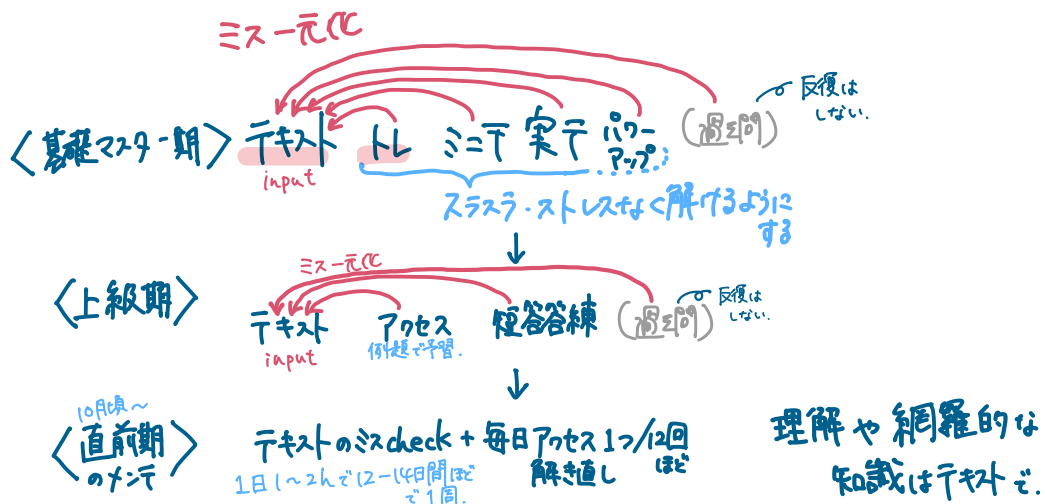
- ex.「もう少し時間があれば、自力で正解できた。」

- ↓
- 電卓のスピードではなく、**計算処理を思い出すスピード**を速くする。テキスト確認、トレーニング等の反復・テスト前のメンテナンス。
 - 時間配分・取捨選択方法の修正（ex.親会社株主に帰属する利益は後回しにする）。
 - 仕訳の勘定科目は、平仮名・カタカナ・アルファベット2文字などに省略して書く。
ex.売上高…U上、売上原価…UG、売掛金…Ux、その他有価証券評価差額金…そさ、
有価証券売却益…BR (revenue)、手形売却損…手BE (expense)
利益剰余金期首…り、非支配株主持分当期変動額…ひと、備品…ビヒン

原因③やらかしミス

- ex.「自信を持って解き、正解したと思ったが、誤りの選択肢だった。」「下書きは合っていた。」「電卓ミス。」「転記ミスした。」

↓
解く際の行動を修正する。短答・論文共に、やらかしミスをいかにゼロにするかが勝負。
内容に応じて、具体的な対策を立てる（次ページ参照）。



計算 やらかしミスの原因と対策例(再掲)

原因	対策例
①下書きを省略しすぎた	講師の下書きを参考に 過不足なく書く 。 月割計算 がある論点は特に注意。
②資料の読み飛ばし	マーカーや色ペンを使いながら読む (短答・論文共に、問題用紙・下書き用紙には使用可能)。 ✓ マーク を資料左側に付す。
③自分の下書きの読み間違い	数字ははっきり書く。自習時からB5などに 下書きを大きく書く 。
④電卓の打ち間違い	打つスピードを緩める(処理を思い出すスピードを速く する)。 ブラインドタッチはしない。特に重要な箇所は気持ちゆっくり1・2度だけ電卓を入れるなど。
⑤電卓や資料からの転記ミス	転記時に、ペンで 指差し確認 。 電卓は体の近くで打つ。
⑥電卓を使わず暗算してミス	極力暗算はしない 。月割は指折り数えるなど。
⑦年度・決算日、税率、単位・四捨五入、償還日・事業供用日の指示をチェックもれ	マーカーや色ペンを使いながら読む (問題用紙には使用可能)。事前に計算論点チェックリスト(webschool→「教材」)や、ミスを振り返る。
⑧指示をチェックしたが、解いているうちに忘れた	解答中の自分の目の動きを振り返り、目に入る場所に書く 。 解答選択直前に、一旦問題用紙・下書き全体を俯瞰。

2. 管理会計論

(1) 入門・基礎マスター期のポイント(再掲)

- 基礎マスター期までは「**正確性**」を意識する。
- 「問題」ではなく、「**論点**」をつぶす。
- 間違っただけ**や解答時に**ストレスを感じた箇所はテキストに必ず立ち返り、ミスの分析・一元化を行う。**
- 理解が不安な箇所は、講師に質問する。自習時間は主に反復訓練の時間と捉える。
- 毎回のミニテストで満点、実力テストでできるだけ90点以上を狙う。**

※管理会計は、とにかくテキストが一番重要。

- ◎トレーニング・ミニテスト・実力テスト復習時は、「こういう時はこうやって解くんだな」「この問題を回して解けるようにしよう」ではなく、**テキストのどの部分が思い出せなかったのか?**を意識すると、問題形式が異なっても戦える知識・計算力が付く。
- ◎解けなかった問題は、「解説を見てわかる」で済まらず、実際に解けるようになっていくか(テキスト該当ページを思い出しながら)を試す。
- ◎解けた問題についても、「**理解して解けているか?**」を振り返る。
- ◎本試験前日に見る論点を、実力テスト・答練前日にも確認(費目の分類、EOQ、財務情報分析、NOPATなど)

(2) 管理会計論 よくいただくご質問

Q.トレーニングなど何度解き直した問題はストレスなく解けますが、初見の問題だと取れません。問題を見ても何をやればよいかわかりづかくなかったり、解けそうな問題でも焦って数字が合わなくなります。解説を見ると知らない知識はなく、解き直しでは解けます。

↓

A.考えられる原因(括弧内は改善例)

- テキストはわからない時だけ戻っている(問題を解いている時に、**テキストの該当ページが思い浮かべられているか?**を意識する。**わからない時だけテキストを見る進め方だと、体系的な理解や知識の網羅性が不足する**可能性が高い。)
- 問題文のうち、「使う数字」を資料の位置で覚えてしまっている。表形式が変わると解けなくなる(「トレーニング・ミニテスト・実力テストについて、**テキストとリンクさせながら、解法プロセスが説明できるか?**」を意識する。直前期でも**テキストを単元ごとに精読する**。言葉の意味や計算目的・プロセスがテキストを見なくても説明できるか?)
- 時間制限があると焦り、**電卓ミス・転記ミス**などが生じている(電卓の打つ速さではなく、**処理を思い出すスピード**を速くする。前頁の「**やらかしミスの原因と対策例**」を参照。)

(参考)財務計算・管理計算 直前期メンテナンス方法の例

ポイント：上級期からは、正確性に加えてスピードの向上/維持を図る。

10-14日以内論点一周を目指す。

財務会計 計算

メンテ期は1.5~2時間/日など。社会人の場合も最低30分は実際に解く時間を確保。

※10月中に苦手分野を無くす（どこまで注力するかは講師に相談）。

■テキスト(又は論点チェックリスト)を1日1冊分要点確認(普段からミスを集約)などにより、**網羅的な知識維持**。

■短答アクセス・答練・過去問集「易」等一部ピックアップして解き直し。
2週間以内論点1周目安。

■本試験前日に見る論点を答練前日にも確認(のれん等調整額、配当時積立、EPSなど)。

管理会計 計算

メンテ期は0.5~1.5時間/日など。社会人の場合も最低30分は実際に解く時間を確保。

※10月中に苦手分野を無くす。

■**テキストを精読**(普段からミスをテキストに集約)しながら言葉の意味・計算をイメージし、**網羅的な知識維持**。

ex.テキスト前半・後半共に13~18頁分ずつ→10日~14日で1周

■テキストを読んだ單元について、短答アクセス・答練一部を解き直し、
適宜トレーニング点検。**テキスト該当ページが思い出せるか?**を意識する。

※**テキストのうち、アクセスに出ていない論点や不安を感じた論点は、トレーニングを確認**(全て解くのではなく、解法プロセスに自信を持ってない論点がないか点検)。

※**電卓を入れず勘定連絡図の下書きだけ書く・数量だけ埋める**方法も併用。

■本試験前日に見る論点を答練前日にも確認(費目別、EOQ、財務情報分析、NOPATなど)。

3. 企業法

(1) 基礎マスター期のポイント

- テキストの内容をある程度説明できるようにする（特に**テキスト太枠内の制度趣旨**）。
- 株主総会の定足数など、細かい知識の暗記はまだ不要。計算力固めが優先。
- ざっくりでも制度趣旨を理解しておくと、短答直前期の暗記の負担が大幅に軽くなる。
- ミニテストや短答問題集★付きのAなど**難易度の易しい短答問題**を解き、趣旨が不明な箇所はテキストに戻る。出やすい条文を中心に制度趣旨の理解を固める。複数制度間を趣旨・制度規定の強弱でおさえる。

※短答問題集全1,777問のうち、A1,181問、もしくは★付きのA 846問（**難しいと感じたら、最初の1・2周は「早まり肢別問題集」でも代用可**）について、不明点はテキストに適宜戻りながら、まず7月頃までに2～3周、丁寧に理解を固める。
難易度B・Cに触れたり暗記のために「回転」するのはその後。

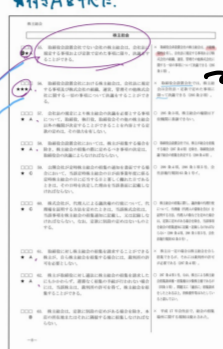
※テキストにある、**論点ごとのまとめの表**を活用できるように、付箋を貼っておく。
直前期は**出やすい条文付近**を中心に、問題を解きながら網羅的に暗記を固める。

- 短答問題集★付きのAを解いて間違えた際には、六法にマーカーし、柱書、ただし書き等の頻出条文の構造をざっくり確認する。

★の個数（本試験での出題回数）を条文上に「正」の字でメモするのも◎。

テキストは
趣旨やテキスト太枠を中心に復習。

手帳は
★付きAを中心に。



(2) 企業法 よくいただくご質問

Q.企業法の条文の番号は今から積極的に覚えていった方がいいでしょうか（専念生）。

↓

A.覚えてほしいと言われた超重要条文は、**テキスト上でその旨を大きく強調**しておきましょう。何回も見てると自然と覚えてきます。六法は目次があるので、条文を見る時はできるだけ毎回目次から見ましょう。「株主総会は大体300条あたりなんだな」など分かればOKです。

Ⅲ. その他事前にいただいたご質問

※講義の進捗や各科目の状況にもよりますので、何かお困りの際は、ぜひ科目の講師や平林（個別学習相談又は予約不要の質問コーナー）までご相談ください。

受講ペースについて

Q.受講をどんどん進めていくとその分復習すべき量が当然増えてくるのですが、復習に力を入れると受講ペースが遅くなり、受講ペースを意識すると復習が疎かになってしまい、良いやり方がないか今自分で模索している状況です。

そこで、先生方が当時どのように勉強を進めてきたのか、あるいは何かアドバイスを教えてください。

↓

A.以下を意識しましょう。

■復習が多少不足していると感じても、講義受講ペースは崩さない（校舎の日程を参考にする。）。不足した分はできるだけその週中にカバーする。

■進むペースと併行して、これまでの復習を進める。

ex.一日の自習のうち、10～20%ほどをこれまでの復習に充てる。土曜日など、振り返りメインの曜日を定める。

「@C.P.A」

Q.体調不良で欠席してしまい、欠席した授業からWebで受講していますが、欠席した分の視聴が遅れてしまったので、授業よりペースが少しずつズレてしまい遅れています。リカバリーの方法や、今後の進め方など、教えていただきたいです。

↓

A.ライブ講義だと実力テスト前や次の基礎マスター開始などに1回分空くことが多いです（月木月、など）。土日などで+1回受けたり若干早めて追いつくか、今以上に遅れないようにきっちり曜日を決めて、早めに講師に質問・相談へ行くようにしましょう。講義は基本的にWebで受講して校舎では質問を活用、という進め方もあります。講義にきっちりリカバリーするとしたら、年明けが一番チャンスです。

Q.ビデオブースで講座を受けているのですが、講座は基本的に視聴可能になった日に受けていくのがやはりベストなのでしょうか。ちなみに1.5年L本科生で、現在財務会計論は基礎マスターⅡの第6コマ目、管理会計論は入門まで進んでいて、配信開始日より約1週間遅れで受講している状況です。

↓

A

はい、新宿校での収録講義実施の概ね7日後に配信されていますので、配信とほぼ同時に受けると自然とライブ校舎と同様に受講・復習のペースがつかみやすくなります。

現在1週間遅れということなので、このまま配信開始日のきっちり1週遅れで進めるか、もしくは若干だけ早めて追いつきましょう。

Q.仕事を辞めて今年の8月から受験に専念している、2年L本科生初学者です。通学コースですが主にWebフォローで学んでいます。今後の勉強の進め方について迷っています。

現在、財務会計論基礎マスターⅡは配信スケジュールから約1ヶ月ほど遅れを取っています。企業法や管理会計論基礎マスターについても、約半月程遅れてしまっています。

毎日の平均勉強時間が4時間くらいであるのと、財務会計論基礎マスターⅠの復習に時間を充て過ぎてしまったことが原因だと思われます。今までの実力テストやパワーアップ問題はなんとか8割得点できているのですが、配信スケジュールから遅れを取っている分、焦りを感じています。

受験に専念したのに勉強時間が少ない点は反省し、今後7時間为目标に取り組もうと思うのですが、遅れを取っている分の講義については、一度流し見でもスケジュール通りに追っていくべきでしょうか。私はしっかり理解してから次に進んでいくタイプなのですが、今までのやり方だと勉強時間を増やしたとしても、どんどん遅れを取っていきそうで不安です。

時間がかかっても着実に理解して次に進んだ方がいいのか、スケジュールに追いつくことを優先してガンガン進めた方が良いのか、ご助言いただけますと幸いです。

↓

A.

以下に注意して進めましょう。

■講義の曜日・ペースは、理解が多少不十分と感じても決めた日程どおり進める。実力テストやパワーアップ問題の実施が近づいても、通常の講義受講日程はずらさない。

■テキストを読んでもわからない時は、講義を受け直すのではなく質問へ。

■現在財務計算で1ヶ月、企業/管理が半月ずれているということなので、「若干」ペースを早める（倍速で毎日ガンガン進めたり、トレーニングやミニテストを受けずに進めたりすると後で復習が苦しくなることが多い）。

財務計算…月・木の週2回配信→追いつくまでは2日おきとする（軽めの回は1日おきなど）。

管理・企業法…週1回ずつの配信→追いつくまでは3～5日おきとする。もしくは企業は1・2チャプターずつ週数回など

ex.

月 財講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習

火 財復習2回目 管講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習

水 財復習3回目 管復習2回目 財BM1復習（実力テスト・トレ） 企講義2/3コマ→1時間復習

木 財講義→復習1回目 企講義1/3コマ→30分復習 週前半の振り返り

金 財復習2回目 管復習3回目 企講義2/3コマ→1時間復習

土 財復習3回目 管講義→復習1回目 財BM1の復習（実力テスト・パワーアップ復習）

日 財講義→復習1回目 午後予備日（今週分の積み残しがなければ休み）

夕方からは完全オフ 今週の振り返り

財務計算について

よくいただくご質問（再掲）

Q.トレーニングはスラスラストレスなく解けるようにして実力テスト・パワーアップ問題に臨みましたが、全く歯が立たなかったです。何を意識すればよいでしょうか。

↓

A.

考えられる原因

- テキストのうちトレーニングに出ていない論点を手薄になっていた。
- トレーニングなどを復習してから、実力テスト・パワーアップまでに、2週間を超えていた。
- テキストを眺めるだけで、実際に解く時間を取っていなかった。
- やらかしミスの防止策を取っていなかった。

改善例

- 10日～2週間程度以内にテキスト（論点チェックリストも活用）の確認を1周行う。
- 初見の問題を正確にスムーズに解く練習として、毎回のテストはできるだけ準備をして受ける。
- 実際に解く時間を、毎日30分～1時間ほどずつは確保する。

Q.授業始めのミニテストで満点を取ることが難しいです。問題演習を十分にしているはずなのに、ミニテストで少し捻られた文言や見慣れない数値を見ると焦ってしまいます。

下書きの工夫や、繰り返しの問題演習をこなしていても、テスト本番で良い結果を出さない状態なので、自信がなくなってきました。テストの心構えや、本番に向けた普段の演習について、何かアドバイスいただけると幸いです（社会人経験有り専念生）。

↓

A.（口頭で回答）

Q.実力テストなど初見の問題で制限時間があると解ける問題も焦ってしまい解けないことがあります。問題がわからないということではなく、制限時間無しで落ち着いて解くと正解にはたどり着けます。こういった状態への対策はひたすら問題演習をするということだけで良いのでしょうか（社会人）。

↓

A.やらかしミスの分析をして対策を立てることと（レジュメ前半参照）、普段からストップウォッチを使うようにしましょう。

Q.トレーニングができていても実力テストを受けると、自分の知識の浅さに気付きます。現状、出来なかったところはテキストに戻って該当箇所に印をつけておくなどしてます。復習の方法など具体的に教えていただきたいです(社会人)。

↓

A.ミスをしてわかることも多いので、あまり凹まずにテキストへ戻ることと、2週間など空けてからもう一度取り組みましょう。復習サイクルは以下を参考にしてくださいませ。

財務計算 復習サイクル・学習方法の例(再掲)

○講義受講時：集中してメモを取る。例題の下書きは、裏紙やノートを用意して一緒に練習する。

↓

○講義直後：その日のうちに、メモ書きを中心にざっくりテキスト確認。

↓

○講義翌日：例題・トレーニングを復習。

間違った箇所や解答時にストレスを感じた箇所はテキストに必ず立ち返る。

ミスの分析・一元化(テキストや、論点チェックリスト等)を行う(次ページ参照)。

↓

○次回講義までに：トレーニングがスラスラ・ストレスなく解けるように反復練習、ミス確認。苦手な問題は、必要があれば実力テストまでに繰り返し解く(徐々に解くべき問題を減らしていく)。

↓

○次回講義前：ミニテスト受験。次回講義受講

※毎回のミニテストで満点を目指す。ミスは分析・一元化。

↓

○実力テスト・パワーアップ問題受験までに：もう一度トレーニング・テキストを復習。

苦手な問題は、必要があればスラスラ解けるようになるまで繰り返し解く(徐々に解くべき問題を減らしていく)。実力テストで70点以上を狙う。実力テスト・パワーアップ問題は、初見で点数が悪くても凹まず、ミスの分析。ミスの分析・一元化を行う。

↓

○上級期までに：トレーニング・実力テスト等を自信を持って解けるよう、テキストと併せて復習する。

Q.実力テストでは、それなりに良い点数を取ることが出来るのですが、パワーアップ問題のような総合問題では悲惨な点数になってしまいます。パワーアップ問題の対策はどのようにするべきなのか教えていただけると幸いです(学生)。

↓
A.

まずは復習で慣れる



有証A
4-2A
現金A

どんな論点が出てか
数文字(何れ)に
ざら分析

解る箇所
この
むづかしい
検討
ex. 貸倒・支払利息
→ 難易度 → 順番
解く

Q.実力テストや日々の授業の復習で精一杯です。パワーアップ答練の位置づけや取り組み方、現時点での目標点数などを教えてほしいです(社会人)。

↓
A.

(口頭で回答)

Q.授業を受けて復習するのに手一杯で、財務の基礎マスターIの復習や、パワーアップ問題を受けられません…(社会人経験有り専念生)

↓
A.

(口頭で回答)

Q.受験でもトップクラスに大切な科目であることは理解しているのですが、財務会計論の計算の苦手意識が抜けません。どう向き合えばいいですか？(学生)

↓

A.

「数字が出せる → ミニT good → 楽しい → もっとや！」

Q.合格はしていないんですが、TACに入る前に簿記1級まである程度進めていました。今は授業の復習も含めて、かなり時間に余裕があるので、論文を見据えた勉強をしたいのですが、基礎マスターI、IIで具体的にどのようなことをすればいいですか？(学生)

↓

A.実力テスト・パワーアップ問題などの総合問題を中心として復習するのが効果的です。以下参考にしていただければと思います。

ex.

個別論点(テキスト1～4、テキスト10一部)…トレーニングで基本的な処理を押さえた後、実力テスト・パワーアップ問題を繰り返し解いてテキスト確認。苦手な問題はトレーニングも反復。まだ余力があれば、TAC受付で売っている「新トレーニング簿記」のうち気になる論点を選んで使ってもOK。

構造論点(テキスト5～9、テキスト10一部)…テキストと実力テスト・パワーアップ問題を中心。

Q.教室講座ですがwebで小野先生の講義を拝見したところわかりやすく、いいお声をされていて感動。ダウンロードしオーディオブックの様にしてお聴かせいただいています。

そこで質問です！徒歩での通勤通学でwebが視聴できない場合、オーディオブックとして勉強する時オススメの科目はなんですか？(社会人)

↓

A.徒歩やランニング中だと、1度受けた理論科目の講義を、等倍で聴く方が多いかなと思います。

Q.これからの基礎マスター期、財務・管理・企業法は、それぞれどれくらいの時間配分で復習すればよいでしょうか(社会人経験有り専念生)。

↓

A.以下参考にしてくださいませ。

専念生の場合：企業法0.5～1時間/日 管理1～3時間/日 残りは全て財務計算(3～6時間)

社会人の場合：企業法0.25-0.5時間/日 管理0.5～2時間/日 残りは全て財務計算に(1～4時間)

Q.短期合格していく受験生の特徴をお聞きたいです(社会人経験有り専念生)。

↓

A.以下のケースが多い印象です。

「ほどよく 理屈 + 計算切り 質問で修正。」

■基礎マスター期に計算をやりこんでいる。

■詰まったら講師に質問・相談している。順調でも今後の予定を講師に確認している。。

■スマホ・ネットとの距離の取り方が適切(ロッカーや決めた時間まで開かないボックスに入れるなど)

Q.財務会計の授業を先生がテキストをあまり使用せずレジュメを中心に授業してくださるのですが、レジュメとテキスト両方に自分の書き込みがあるのに一元化できておらず、復習する際に困っています。それが嫌ならテキストで授業をしてくださるwebの小野先生の授業を受ける方がいいのでしょうか？(学生)

↓

A.ライブの方がすぐに質問・相談できてよい面もあります。まず今の進捗や状況をライブの先生に相談することと、最終的に直前期確認する教材に順次書き込むようにしましょう。一元化の場所として論点チェックリストを活用するのもおすすめです。webの小野先生の授業を受けることにした場合でも、ぜひ校舎の先生には引き続き相談するようにしましょう。

Q.教室授業を受けてるのですが、仕事で講義時間に間に合わなくなってからwebで受けてます。それからだんだん講義が溜まっていきしんどくなってきてしまいました。なんとか教室の実力テストに合わせて講義、ミニテストを消化しようと必死ですが、時間の使い方が下手でミニテストもボロボロです…。どうすれば上手く時間を捻出できますか？(社会人)

↓

A.以下参考にしてくださいませ。

■スキマ時間で論点チェックリストを見たり、スマホに重要ページの写真を撮り確認。時間がまとまって取れない分、頻度を上げる。

■講義を受けた直後、テキストをざっとパラパラめくる。当日・翌日中にざっとでも復習。復習不足は土日でキャッチアップする。平日に受けたミニテストは週末にもう一度復習。

■企業法の復習は電車でする。

Q.2023年目標大学1年です。自動車運転免許を取ろうとしているのですが、1年の春休みに免許合宿に2週間行こうと思っています。免許をとる機期的にはベストですか？

↓

A.はい、夏休みは厳しいので春休みまでがよいと思います。基礎マスターの復習をやりこみたい時期なので、合宿先にも勉強道具を持っていきましょう。

Q.基礎マスターの知識だけで短答ではどのぐらい点数が取れますか？(学生)

↓

A.難易度や出題論点にもよりますが、概ね以下のイメージです。

財務会計 計算55-稀に80点、理論3～稀に5問/9・10問(24-40点)

管理会計 計算2～稀に4問/8問(14-28点ほど)、理論2～3問/8問(10-15点)

企業法 45-稀に70点

監査論 30点(入門期から厚めに理解を固めていると、稀に50点を超えるケースがある)

Q.会計士の勉強は大学受験と違い、範囲が想像し難いです。また、難易度も想像しにくいです。ちゃんと勉強すれば受かるとよく聞きますが、本当に勉強すれば合格出来ますか。また、2年コースと1.5年コースで合格率の違いはありますか(学生)。

↓

A.カリキュラムが徐々にハードになってきますが、**今予め計算をやりこんでおいてカリキュラムに食らいついていくこと**と、困った時には解く回数や講義聞き直しでカバーというよりも、**テキストを読んでわからなければ講師に質問・相談して解消していくこと**を意識しましょう。初期に計算をやり込んで適時に質問・相談している方の場合、短答論文まで比較的スムーズに(一時的に成績が伸び悩む時期はありつつも)合格されていきます。

私の方で詳しいデータは持っていないですが、1.5年コースの場合、7月頃からのアクセス答練でどうしても反復練習が足りない論点があり、ペースを作るのに悩む方が多いです(2年コ

ースの方も同様に苦しくなる時期です)。ただし、1.5年コースの場合でも、学習初期からこまめに計算トレーニング・テキスト復習とミス一元化をしつつ各科目講師に質問・相談している方だと、短答論文共にそこまで合格率に違いはない印象です。

Q.社会人受験生の為、働きながら通学できる日は通学をしています。公認会計士になりたい気持ちが強く、仕事を休み受験専念の道も考えています。基礎マスターの時を1と考えた時に、上級はどれくらいのものなのでしょうか。専念するとして、早ければ早い方がいいと思いますが、いつぐらいから専念に切り替える方が多いのでしょうか。

↓

A.

■ボリュームの目安

週あたりの講義数でいうと、ざっくり以下のイメージです。5月までに実施している計算科目の講義内容について、年末、ゴールデンウィークなどを目安に積み残しをなくす必要があります。

今が週4回(財務計算週2、管理週1、企業週1)

○来年6月頃から…週6・7講義+7月からは週2回「アクセス答練」(解説含めて1~1.5時間ほど×財計・管理毎週1回ずつ)=週およそ7コマ~8コマ=1.75~2倍

○来年8月下旬~…上記+3週間に1度ほど、各科目答練(解説含めて1.75~3時間)実施×4科目=週およそ7~9コマ=1.75~2.25倍

■専念に切り替える時期、専念にするかどうか

勉強開始前、短答前の6月頃、8月頃、12月短答後、5月短答後、論文試験実施後、論文合格発表後など、現在の職場を辞める時期は皆さんさまざまです。

仕事を辞めて受験専念にするか、もしくは監査法人や会計事務所で働きながら受験を継続するかなど色々な選択肢がありますので、ぜひ以下の就職サポートで相談してみてください。zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

TAC会計士講座 就職サポート

フリーダイヤル 0120527699 (平日14~17時)

メール counselor@tac-school.co.jp

Q.スマホのアプリで時間を記録する事は有益だと思いますか。私は1日の初めにやることを決めてそれを実行できれば良いと思っているので時間を毎回丁寧に記録するのはめんどくさがりな私には難しいと思っています。お二方は受講生の頃、勉強時間を記録していましたでしょうか?(学生)

↓

A. (口頭で回答)

Q.毎日勉強していると肩こりが辛いです。おすすめの解消法を教えてください(社会人経験有り専念生)。

↓

A.1時間ごとなどこまめに休憩を取ることと、肩をあたためるのがおすすめです。書見台を使う方もいらっしゃいます。

そのほかよくいただくご質問

Q.皆さんどのようなペースで休みを取っているのでしょうか。学習専念生ということもあり、休むことに罪悪感を感じます。

↓

A.

1日・1週間の中で、身体的・精神的にも少し緩める時間を意識的に取る方が、結果的には効率よく進められるはずです。半日～1日のバッファを作って、予定通りに進んでいたらその日は計算のメンテのみ、というやり方もあります。

夕方走る/筋トレする、夜22時～23時はお笑い動画や音楽を楽しむ、月に1回はかなり軽めの日を作ったりいつもは行かない校舎へ行く、などされている方もいらっしゃいます。

Q.しんどくなって勉強が数日手に付かなくなることがあります。メンタル管理について、何かよい方法があったら教えてください。

↓

A.

■睡眠を大事にする。

■しんどくなったら上を向き、天井を見つめてじっとする（ネガティブな思考を切り上げられる。）

■思いっきり弱音や不安を言いたくなったら質問コーナーに行ったり、紙に全部書き出す。書き出したものを眺めて、長年の友達から相談を受けたと思ってアドバイスを考えてみる。

■口癖や表情筋で感情をコントロールする。鏡を見たらちょっと口角を上げるようにする。肩甲骨を緩める。

睡眠について

Q.勉強をしていて眠気がひどい時があります。何か良い対策方法などありましたら、教えていただきたいです。

Q.夜寝付きが悪いです。寝る前のおすすめの過ごし方を教えてください。

↓

A.日中の日光/運動不足、直前まで勉強をして神経が昂ぶっている、寝る前に食べ過ぎ/空腹、ストレス/不安、寝具の通気性が悪いなどの原因が考えられます。以下を参考にしていただければと思います。

睡眠環境等の改善

- スマホ画面に**ブルーライトカット**フィルムを貼る。スマホの設定で**ホワイトポイントを下げる**。
- 寝間着/寝具を通気性の良いものに替える。
- 湯船につかる時は、睡眠の1時間以上前か、ぬるめにする（深部体温を下げる）。
- 寝る数時間前になったら、部屋の**照明を電球色**にする・暗めにするなど。
- 睡眠時は真っ暗/豆電球など落ち着く状態にする。
- 起床時、睡眠サイクル・寝返りなどを探知してアラームが鳴るアプリを使う。
- 30分～1時間ほど、睡眠時間を伸ばしてみる。

日中の過ごし方

- 朝起きたら意識的に日光を浴びる（起きてから12時間後くらいに眠くなる）。
- 15分、30分、55分など、**短時間で区切る**。1度筋トレを挟んだり科目や論点を替える。
- 立ったまま・歩きながら・スクワットしながら取り組む。
- 理論科目の短答問題は、電車内などで立ったまま取り組む（机を使える時にテキスト・六法を開く）。
- 眠い時間帯は割り切って、**予めコーヒーを飲んでから**5分仮眠（30分は超えない）。
- 20-30分教材整理などの作業を進める。
- 日中・夕方頃などに少し体を動かす。散歩・筋トレ・ランニングなど。

夜の過ごし方

- 寝る超直前は、もし勉強するとしても**軽めの内容**に抑える。その日一日でやった内容を振り返る、計算テキストをパラパラめくる、ごく簡単な計算問題を解いてリラックスなど。
- 好きな音楽を聞いてリラックスする。温めた牛乳やココア・白湯をゆっくり飲んで一息つくなど。
- 大の字で思いっきり寝っ転がる。
- 眠くなってから布団に入る**。あくびを出す。
- 不安でもやもやしたら、翌日に時間を設けて、紙に全て書き出す（**夜に考えず翌日に回す**）。

モチベーションについて（再掲）

Q.モチベーションはどのように保てばよいでしょうか。なかなかやる気が出ない日が続くことがあり、勉強のペースに波があります。

↓

A.

モチベーションが高い/前向きな気持ちで長時間集中できるという時間帯がたまに訪れたらラッキー、モチベーションが下がり過ぎないようにネットとの接触や体調管理に気を付ける、程度に考えるのがおすすめです。また、自習で集中できるのは、専念生だと午前中の数時間や夕方の1時間程度、という受験生が多いです。

以下を参考にしていいただければと思います。

- 財務・管理のミニテストで毎回満点を取ることを最優先目標とする。実力テスト受講後は、丁寧にインプット不足・ミスの原因を分析する。
- 体調が今ひとつな時用の勉強・作業を決めておく。
- 飽きたら簡単な計算問題（例題・ミニテストなど）を挟む。科目・論点を替える。
- 勉強時間よりも、取り組む論点や内容・頻度を目標にする。週に半日～1日バッファを設ける。机を使わない勉強方法を取り入れる（散歩や筋トレをしながら講義内容を思い出すなど）。
- 理論科目のテキストについて、1ページ5～30秒などで30ページめくり続ける。気になる論点には付箋。
- zoom/校舎質問コーナーを定期的に活用する。

※やることが明確になり自信を持って進められますし、短時間でも人と話すとすっきりします。質問時に質問内容の説明をすること自体が理解確認・定着にもつながります。具体的な内容質問以外でも、講師/チューター自身が入門・基礎マスター期どのように過ごしていたかなど聞いてみてください。

各種質問/相談窓口

今後の学習の進め方のほか、いろいろな事情で思うように勉強が進められず学習方針などに悩んでいる場合には、講師、受付、就職サポートの相澤までぜひお気軽にご相談ください。

■校舎・zoom質問コーナー

科目ごとの内容質問・学習の進め方等について、講師に直接相談できる。

事前予約は不要。混んでいる時は15-20分ほど目安。

zoom質問コーナー…web school下部「zoomを利用した質問・相談コーナーについて」リンクから待機室へ

質問コーナー日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/kaikei_gd_situmon.html



Q.zoomの質問コーナーを使ったことがないのですが、自分の順番の時間は分かるのでしょうか。
ログインしたままずっと待つ感じででしょうか。

↓

A.開始時刻の目安をチャット欄でご案内します。その時間に再度いらしていただければ、1度ログアウトしても大丈夫です。開始時刻の目安は、講師が質問対応の合間に、手動でチャット入力しています。開始時刻の目安が出るまで、恐れ入りますが、20分～長くて30分ほどお待たせすることがあります。ご承知おきくださいませ。

■個別成績・学習方法相談（久野・平林）

直前週の土曜日13時～ <https://tacschool.resv.jp/> でネット予約

※校舎・zoomで実施しています。



※個別成績・学習方法相談の予約が取れない場合には、
上記予約不要の校舎/zoom質問コーナー（財務理論・平林）でも
短時間ではありますが学習相談を承っていますので、そちらもご利用ください。

個別成績・学習相談日程表（受講生HP「@C.P.A」）

https://www.tac-school.co.jp/kouza_kaikei/seiseki-sodan.html



■就職サポート

TAC会計士講座 就職サポート

フリーダイヤル 0120527699（平日14～17時）

メール counselor@tac-school.co.jp

※監査法人への就活・転職以外にも、会計事務所等や一般事業会社への就職・転職や、
仕事を辞めて受験専念にするか、卒業後働きながら受験を継続するか、受験対策を辞めて就職する
場合のエントリーシートの書き方等の相談などありましたら、ぜひ相談してみてください。
zoomを使ったオンラインでの相談も可能です。

Web school マイン-ジツ画面



Zoom 日程表一覧の見方



久野・平林の
個別成績 学習方法相談は、
リンク先から事前にネット予約。
(予約開始は直前週の土曜日 13時~など)



Zoom 質問 - 1 -

講師と1対1
ビデオOFFでもOK.
予約不要.

関西名産校
などでも質問コーナーあり

TAC公認会計士講座【関東地区 質問・相談コーナー】3月予定表 確定版

スケジュール表 書き込み用 11/1(月)~1/30(日)

目標

月	火	水	木	金	土	日	備考/ 振り返り
11/1	11/2	11/3 文化の日	11/4	11/5	11/6	11/7	
11/8	11/9	11/10	11/11	11/12	11/13	11/14	
11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21	
11/22	11/23 勤労感謝の日	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	
11/29	11/30	12/1	12/2	12/3	12/4	12/5	
12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12	
12/13	12/14	12/15	12/16	12/17	12/18	12/19	
12/20	12/21	12/22	12/23	12/24	12/25	12/26	
12/27	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	
1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	
1/10 成人の日	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	
1/17	1/18	1/19	1/20	1/21	1/22	1/23	
1/24	1/25	1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	

スケジュール表 書き込み用 1/31(月)~5/1(日)

目標

月	火	水	木	金	土	日	備考/ 振り返り
1/31	2/1	2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	5月短答出願開始 (ネット出願は2/24まで)
2/7	2/8	2/9	2/10	2/11 建国記念日	2/12	2/13	
2/14	2/15	2/16	2/17	2/18	2/19	2/20	
2/21	2/22	2/23 天皇誕生日	2/24	2/25	2/26	2/27	5月短答出願締切 (ネット出願は2/24まで)
2/28	3/1	3/2	3/3	3/4	3/5	3/6	
3/7	3/8	3/9	3/10	3/11	3/12	3/13	
3/14	3/15	3/16	3/17	3/18	3/19	3/20	
3/21 春分の日	3/22	3/23	3/24	3/25	3/26	3/27	
3/28	3/29	3/30	3/31	4/1	4/2	4/3	
4/4	4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	
4/11	4/12	4/13	4/14	4/15	4/16	4/17	
4/18	4/19	4/20	4/21	4/22	4/23	4/24	
4/25	4/26	4/27	4/28	4/29 昭和の日	4/30	5/1	4月末頃 2年コース 財務計算上級講義開始

スケジュール表 書き込み用 5/2(月)~7/31(日)

目標

月	火	水	木	金	土	日	備考/ 振り返り
5/2	5/3 憲法記念日	5/4 みどりの日	5/5 こどもの日	5/6	5/7	5/8	
5/9	5/10	5/11	5/12	5/13	5/14	5/15	
5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21	5/22	5月末頃 2年コース 管理上級講義開始
5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28	5/29 5月短答	
5/30	5/31	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6月頭頃 財理・企業法・ 監査論上級講義開始 6月頭頃 1.5年コース 管理上級講義開始
6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/12又は6/19 簿記検定
6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19	
6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26	
6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	
7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10	7月頭頃 1.5年コース 財 務計算上級講義開始
7/11	7/12	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17	7月半ば 財務・管 理アクセス答開始
7/18 海の日	7/19	7/20	7/21	7/22	7/23	7/24	
7/25	7/26	7/27	7/28	7/29	7/30	7/31	

[MEMO]